

高精細な特殊印刷の新しい用途案をクラウドソーシングで募集

アロンス株式会社

会社概要

〒146-0092 東京都大田区下丸子 3-17-5

業 種 サービス業

資 本 金 1,000万円

従 業 員 数 6名

事 業 内 容 1) レンチキュラー効果専用画像合成ソフトウェアの
販売
2) 各種レンチキュラーレンズの販売
3) レンチキュラーレンズを使った各種製品の製作

URL <http://www.arons.co.jp>



営業 安永 正明氏

当社はレンチキュラーの印刷を専門に事業を行っています。レンチキュラーとは、見る角度によって絵柄が変化したり、立体感が得られたりする印刷物のことです。数センチメートル角の小型のものから、建物の壁面に取り付けられている広告板などの大型のものまであります。

そういった印刷物製作のほか、印刷に使う材料の供給、そしてレンチキュラー画像を作る専門のアプリケーションの取り扱い、この三つが当社の主力業務です。

製作に関しては様々な業種のお客様がありますが、広告用途で使われることが多いので、広告代理店、ディスプレイ業界、店舗装飾関連といった、グラフィックを扱っている企業様からの問い合わせが多くあります。材料とソフトウェアに関しては、印刷会社がメインのお客様です。

細かなレンチキュラーシートを使った斬新な企画が必要

レンチキュラーの構造は、レンチキュラー画像と呼ばれる画像の上に、表面に微細な細長いカマボコ状の凸レンズが無数に並んだシートが配置されていて、その凸レンズによって、見る角度により絵柄が変わったり、アニメーション効果が生まれたり、3Dに見えたりします。一般的に使用されているものとしては、100線と

いうのが一番細かいものでした。1年ほど前から、富士フィルム株式会社が200線という目で見てもわからないほど細かなレンチキュラーシートを製造しており、私たちはその200線のシートも普及させていこうとしています。

ところがレンチキュラーの用途という、名刺、カード、グッズ的なものなど、私たちの発想はある意味固くなってしまっている部分があります。それだと適用されるアイテムがなかなか発展していかないので、斬新な企画を必要としていました。それでクラウドソーシングを使って、高精細レンチキュラー印刷の新しい用途企画案を募集することにしたのです。

短期間でも多くのアイデアが集まる募集方法に課題も

しかしながら、事務手続きなどの都合で、募集期間が1日しか確保できなくなってしまいました。実際には募集から締め切りまで半日程度の募集だったのですが、その短期間に、127件の応募が集まりました。でも質の面ではやはり、私たちが考えていたものに近いアイデアか、あるいは全く実現不可能なアイデアに2極化され、その中間の意外だけれども実現可能というものはありませんでした。まずはクラウドソーシングによってアイデアが集まることまでは検証できましたが、その方法には課題が残りました。

次にアイデアを募集する時は、募集期間を長くすることは大前提として、募集の仕方も見直さなければいけないと感じています。まず200線の特徴は、実物を見ていただくと思うのですが、それをネットの情報で

いかに伝えるかということです。もう一つ、今回は提案の形式を自由にしましたが、これをパワーポイントに限定するだけでも、どれくらい儲かるとか、どこに企画を売り込めばいいとか、もう少し具体的な提案が出てくると思います。

金額をこちら側で設定できる使いやすさ

当社としては、こうして外部からアイデア募集を継続も検討しようと思っています。その時クラウドソーシングだと、予算が決まっている中で金額をこちら側で設定できますので、そういった面でも使いやすいと思いますね。具体的な提案が出てくるよう依頼方法を工夫しつつ、クラウドソーシングの良い面を有効活用していきたいと考えています。



アロンス株式会社様のコーポレートサイト <http://www.arons.co.jp>

3D 立体感・遠近感

『立体感』『遠近感』を感じて見ることの出来る効果。

2D 動き、変化

絵柄が『変化する』『動く』様子を表現した効果。

レンチキュラー効果は、3Dや2Dと言った表現効果を作り出すもので、材料であるレンチキュラーレンズ、専用の画像処理、印刷やプリントにより作り上げるグラフィック表現です。3Dは絵柄の立体感や遠近感の効果を上げ、絵柄の美しさや迫り感を感じて見ることが出来る効果で、2D効果はユニークな印象やアイキャッチの効果が有効的で、絵柄の変化や動きを表現する効果です。それぞれの効果に特長があり、目的により効果を選択し、さまざまな製品を作り上げて行きます。